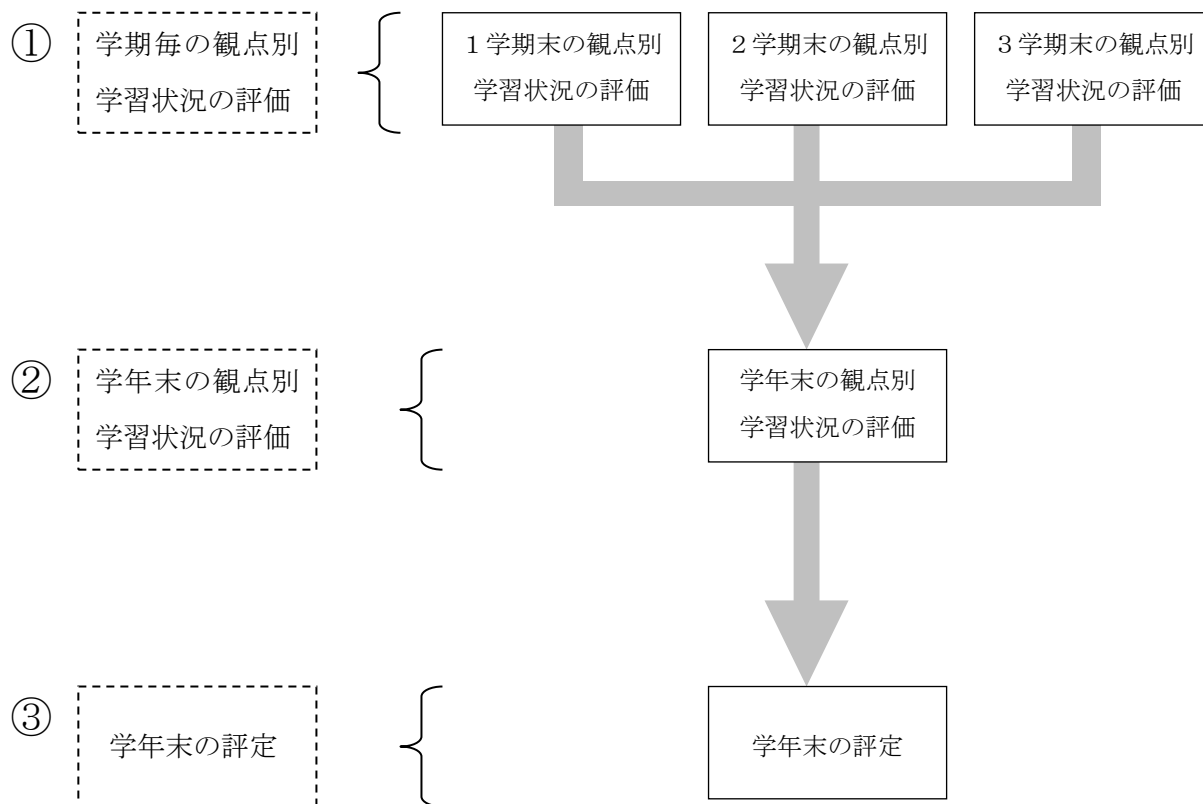


観点別学習状況の評価から評定への総括の方法

1. 観点別学習状況の評価から評定への基本的な考え方



基本的な考え方を図示すると、上図のようになる。

①……各学期末には、「学期毎の観点別学習状況の評価」を出す。

この「学期毎の観点別学習状況の評価」は、単元ごとの観点別学習状況の評価をもとに、総括評価を出す。その手順は以下の項で説明する。

②……学年末に、「学年末の観点別学習状況の評価」を出す。

この「学年末の観点別学習状況の評価」は、学期毎の観点別学習状況の評価をもとに、総括評価を出す。その手順は以下の項で説明する。

③……学年末の評定を出す。

この「学年末の評定」は、「学期毎の観点別学習状況の評価」をもとに、総括するが、その手順は以下の項で説明する。

2. 学期末の観点別学習状況の評価の出し方

「学期毎の観点別学習状況の評価」は、以下の手順で算出する。

- (1) 各単元における観点別学習状況の評価を、「A = 3、B = 2、C = 1」として数値化する。
- (2) 学期末に、観点ごとの評価点を合計し、平均値を計算する。

※単元によって軽重がある場合には指定の単元を 1.5 倍して計算する等、適宜、学年で検討して計算する。

- (3) 算出した数値を以下の基準で判定し、学期末の観点別学習状況の評価を出す。

「 A = 2.5 以上、 B = 1.5 以上、 C = 1.5 未満 」

<例>

【各単元の評価】

	単元 1	単元 2	単元 3	単元 4
知識・技能	A	A	B	B
思考・判断・表現	B	B	B	C
学びに向かう人間性	A	B	C	C

【学期末の評価】

	単元 1	単元 2	単元 3	単元 4	平均	学期末
知識・技能	3	3	2	2	2.5	A
思考・判断・表現	2	2	2	1	1.7	B
学びに向かう人間性	3	2	1	1	1.7	B

※この例は、単元による軽重を考慮せずに、計算。

3. 学年末の観点別学習状況の評価の出し方

「学年末の観点別学習状況の評価」は、以下の手順で算出する。

- (1) 各学期における観点別学習状況の評価を、「A = 3、B = 2、C = 1」として数値化する。
- (2) 観点ごとの評価点を合計し、平均値を計算する。

※学期によって軽重がある場合には、指定の学期を 1.5 倍して計算する等適宜、学年で検討して計算する。

- (3) 算出した数値を以下の基準で判定し、学年末の観点別学習状況の評価を出す。

「 A = 2.5 以上、 B = 1.5 以上、 C = 1.5 未満 」

<例> 【学期毎の評価】

	1 学期	2 学期	3 学期
知識・技能	A	A	B
思考・判断・表現	B	B	B
学びに向かう人間性	A	B	C

【学期末の評価】

	1 学期	2 学期	3 学期	平均	学年末
知識・技能	3	3	2	2.7	A
思考・判断・表現	2	2	1	1.7	B
学びに向かう人間性	3	2	1	2	B

※この例は、学期による軽重を考慮せずに、計算。

4. 学年末の評定の出し方

「学年末の評定」は、以下の手順で算出する。

- (1) 学年末における観点別学習状況の評価を、「A = 3、B = 2、C = 1」として数値化する。
- (2) 各観点の評価点を合計し、平均値を計算する。
- (3) 算出した数値を以下の基準で判定し、学年末の評価を出す。

「 3 = 2.5 以上、 2 = 1.5 以上、 1 = 1.5 未満 」

※教科によっては学年で検討し、評定を決める。

<例>

【学年末の評価と評定】

	学年末 の評価	数値
知識・技能	A	3
思考・判断・表現	B	2
学びに向かう人間性	B	2

平均
2.33

学期末の評定
2